

オルガネラコンタクトサイトが仲介する 脂質代謝調節とタンパク質の品質管理

Inter-Organelle Membrane Contact Sites: Key Mediators of
Lipid Metabolism and Protein Quality Control

山形大学理学部 教授
Yamagata University

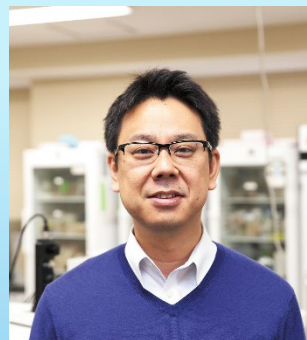
田村 康
Yasushi Tamura

2025 年 3 月 13 日 (木)

16:00 ~ 17:00

生体調節研究所 1F・大会議室

真核細胞内には多様な機能を持つオルガネラ膜が発達しており、細胞機能に不可欠な役割を果たしている。オルガネラは特定の酵素群や代謝物を隔離することで無数の化学反応を混線させることなく効率的に実行するため、空間的に独立して存在すると考えられてきた。しかし最近の研究によって、異なるオルガネラ膜同士が近接したメンブレンコンタクトサイト (Membrane Contact Site, MCS) を形成し、互いに連携しながら機能することがわかってきた。われわれはMCSを機能する独自の実験系を構築し、出芽酵母とヒト培養細胞を用いてMCSの機能解析を進めている。本セミナーでは、私たちの研究によって明らかになってきたMCSの動的变化を介した脂質の合成と輸送の調節機構や、タンパク質の品質管理について最新知見を紹介し、MCSが関与するオルガネラ恒常性維持機構について議論したい。



参加登録
不要

直接会場に
お越しください

田村先生は高崎高校をご卒業後、名古屋大学およびジョンスホプキンス大学でミトコンドリア研究に従事され、数多くの論文を発表されています。山形大学で独立後は近年、細胞生物学分野で注目されているオルガネラ間コンタクトサイトの機能についてユニークな研究を展開されています。本セミナーではコンタクトサイトに関する最新の知見をご紹介します。奮ってご参加ください。